

北海道読書推進運動協議会

北 読 進 協 だ よ り

第35号



読書ボランティア「おはなしの森ひなた」(苫前町)

— 令和元年度優良読書グループ特集 —

全国表彰
北海道表彰

主催：公益社団法人読書推進運動協議会
主催：北海道読書推進運動協議会

— はじめに —

北海道読書推進運動協議会（略称：北読進協^{ほくどくしんきょう}）では、秋の読書週間に合わせ、本を読む楽しさを広め、地域文化の向上に貢献している団体を表彰する「優良読書グループ表彰」（北海道表彰）を実施しています。平成 29 年度からは、今後の活発な活動が期待される 1 グループを奨励賞として、計 6 グループを表彰しています。

また、これまでに北海道表彰を受賞したグループの中から、公益社団法人読書推進運動協議会で実施している「優良読書グループ表彰」（全国表彰）への推薦も行っており、各都道府県から 1 グループずつ表彰されています。

本号では、今年度受賞した全国・北海道表彰の読書グループの寄稿文を紹介します。

＜過去 3 年間に表彰を受けた読書グループ＞

年度	表 彰	管 内	市町村名	受賞グループ名
R1	全 国	根室	中標津町	読み聞かせサークル おはなしの木
	北海道(本賞)	石狩	千歳市	E 絵本くらぶ
		日高	新ひだか町	日本の古典を読む会
		渡島	函館市	絵本読み語りグループ「マシュマロ」
		留萌	苫前町	読書ボランティア「おはなしの森ひなた」
		オホーツク	網走市	絵本文庫「屯」
	北海道(奨励賞)	石狩	札幌市	フリユール絵本部「ファンタジア」
H30	全 国	十勝	池田町	読み聞かせサークル「E 本よもう！どらねこ倶楽部」
	北海道(本賞)	後志	仁木町	仁木町読書サークル兎の眼
		胆振	苫小牧市	にじのはし
		渡島	八雲町	童話サークル びいたあ★ぱん
		オホーツク	北見市	読み聞かせグループ「子ども達に自作の紙芝居を見てもらう会」
		十勝	広尾町	サンタのぼけっと
	北海道(奨励賞)	石狩	江別市	みーとほん
H29	全 国	空知	南幌町	南幌町読み聞かせサークル
	北海道(本賞)	後志	岩内町	ブックスタートをサポートする会
		上川	比布町	絵本の読み聞かせ会ひろがり文庫
		上川	上富良野町	ふらの・ものがたり文化の会
		オホーツク	斜里町	朗読サークル気のいいアヒル
		十勝	広尾町	ベビーサンタの会
	北海道(奨励賞)	檜山	奥尻町	おはなしの会うみいろ

全国表彰（主催：公益社団法人読書推進運動協議会）

読み聞かせサークル おはなしの木

根室管内 中標津町

<団体の概要>

設立年：平成6年

会員数：10名

代表者：長谷川武子

平成24年度北海道表彰受賞

【グループの始まり】

絵本を通して本の楽しさを広め、心豊かな子どもたちの成長を願って、平成6年（1994年）から中標津町図書館において読み聞かせの活動を始めたのが「おはなしの木」です。“そっと芽を出した小さな木が、これからもっと大きくなるように…しっかりと根をはり、花を咲かせ、種をつくっていけるように” そんな想いをこめて「おはなしの木」と名づけました。

【活動の内容】

- 中標津町図書館、町内3小学校、保育園、幼稚園、子育てサークル、ブックスタートなどでの定期的な読み聞かせやおはなし会
- お年寄りサロンでのおはなし会
- 町のFM出演
- 様々な学校での本に関わるお手伝い

【これから】

発足から25年。メンバーを交代しながらもここまで活動を続けてこられたのは、日々私たちの活動を支えてくださる方々、必要としてくださる方々がいるおかげです。このような栄誉ある賞をいただき、皆様に心から感謝申し上げます。

これからも絵本が子どもたちの心の栄養になることを願いながら、おはなしの種をまく気持ちで活動を続けていきたいと思っています。



北海道表彰本賞

E 絵本くらぶ

石狩管内 千歳市

<団体の概要>

設立年：平成 20 年

会員数：9 名

代表者：岡部いづみ

【グループの始まり】

「英語絵本読みのグループを立ち上げませんか。」と図書館からお話を頂き、集まった 6 人でスタートしました。

当時、メンバー全員が英語教育に携わっており、絵本読みの経験はありましたが、この会では、翻訳はせず、英語の音と絵のみで物語を伝えるという、皆にとって全く新しい試みとなりました。

【活動の内容】

- 千歳市立図書館の“おはなしコーナー”英語絵本の読み聞かせ（毎月第 3 日曜日）
- 学校、保育園、市民行事などで活動

【これから】

この度の受賞は本当にびっくりしました。子ども達の笑顔が見たくて、自分たちも楽しませてもらいながら活動をしてきました。英語が十分に理解できなくても想像力を働かせる子ども達に驚く日々です。

これからも、それぞれのメンバーが自分たちのできる範囲で今までどおり楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。



北海道表彰本賞

日本の古典を読む会

日高管内 新ひだか町

<団体の概要>

設立年：昭和45年

会員数：6名

代表者：米子克子

【グループの始まり】

昭和44年静内町（現新ひだか町）に図書館が出来た際、「どうしたら図書館を町民が日常生活の中に位置づけられるか」と考えられた司書の方の呼びかけで、図書館をよく利用する奥さん方のご意見をもとに、昭和45年「日本の古典を読む会」が発足。

当時の図書館長さんに講師をお願いし、図書室の閲覧席の片隅での読書会が始まりました。



【活動の内容】

- 例会（毎週木曜日の10時～12時）
- 発足当時、子育て中の会員ばかりでしたので、子どもの夏休み・冬休み・春休みに合わせて会はお休みとなりました。子育てが終わった今もその習慣は続いています。
- 読み方は輪番で、1人4ページ弱を読んで訳をし、内容について話し合っています。

【これから】

昔は図書館のお手伝いもしていましたが、現在は自分たちの好きな本を読み合っています。多い時会員は12～13名おりましたが、転勤・高齢化などにより今は6名となりましたが、体の続く限り、続けていきたいと思っています。

また、転勤された方々が、引き続き、札幌でも集まって古典を読み続けていると伺っており、大変嬉しい事です。

古典を読んで日頃思う事は、桜を見て歌を作ったり散るのを惜しんだり等、何事につけても昔の人と現代人の心のあり方は変わっていないという事です。日々、感動を覚えながら作品を読み進めております。

北海道表彰本賞

絵本読み語りグループ「マシュマロ」

渡島管内 函館市

<団体の概要>

設立年：平成8年

会員数：13名

代表者：弦木恵美子

【グループの始まり】

昭和の女子高生の卒業を機に、地域の図書室での読み聞かせグループ「あすなろ」から独立しました。

より多くの子ども達に絵本の良さを届けようをモットーに「マシュマロ」と名称し有志を募り今日に至ります。

【活動の内容】

- 毎月の定例会・研修会を持つ
- 保健センターでの絵本ふれあい事業
- 図書館での読み語り（週5回）
- 有志による朗読研究会「綾」での朗読の勉強会（月6回）
- 朗読会（年3回）
- 依頼イベント
- 図書館イベント
- 老健施設
- 目の不自由な方向けの録音テープ制作

【これから】

我武者羅に今日まで突っ走ってきました。会員の老化も進み、読み語りグループもたくさん誕生し、絵本の読み語りも浸透し、これを機に一休み…とはいきませんね。

絵本にまつわる事なら、ここぞとチャレンジ精神旺盛な皆々、読み語りや朗読を通して季節感、友情、正義、人生における指針等々、熱く伝えている事でしょう。



北海道表彰本賞

読書ボランティア「おはなしの森ひなた」

留萌管内 苫前町

<団体の概要>

設立年：平成 15 年

会員数：8 名

代表者：なし

【グループの始まり】

公民館図書室の読書ボランティア募集の呼びかけに集まった 5 名により発足。「図書室サポーター」という名前で活動していましたが、後に「おはなしの森ひなた」に改名しました。

【活動の内容】

- 未就学児と保護者を対象とした「本とあそぼう事業」を 6 月・8 月・10 月・12 月・2 月の第一土曜日に開催しています。はじめに手遊び、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどのミニおはなし会を実施し、後半は手形スタンプカード作りやハンドトリートメント体験、脳を刺激する運動など親子で楽しめる内容を組み合わせて実施しています。
- 小学生には学校の朝読書での読み聞かせや学校ブックフェスティバルでのおはなし会のほか、公民館図書室での工作教室（スライム、こま）を実施しています。
- これまで、おはなし会などで使用する様々な小道具などを作成してきましたが、現在は地域の民話をもとにした影絵作品作りに挑戦しています。

【これから】

結成から 16 年が経過し、メンバーを入れ替えながら「できる人ができることを細く長く」をモットーに活動を続けてきました。集まれば、作業より話に夢中になってしまうこともあります。世代の異なる仲間との会話から、子育てのヒントをもらうこともあります。事業に参加してくれる保護者の方々にも、同じように寄り添える存在でいたいです。



最後に、その時々を支え一緒に活動してくれたメンバー、事業に参加してくれた親子、朝読書の読み聞かせに行くと笑顔で教室に迎えてくれる子ども達に、感謝の気持ちを伝えられるような活動を今後も続けていきたいです。

北海道表彰本賞

絵本文庫「屯」

オホーツク管内 網走市

<団体の概要>

設立年：平成7年

会員数：1名

代表者：稲川喜代子

【グループの始まり】

もともと市内の童話サークルのメンバーであり、子どもと本が大好きであったことから、数年ほど自宅で絵本の貸出などのボランティアをしてきましたが、「子どもたちが集まって本を読める場があればもっとよいのではないか」と考え、平成7年に自宅の庭にログハウスの文庫を設置。所属する童話サークルの名「屯」（人が集まるなどの意味がある）を、文庫の名前に付けました。

【活動の内容】

- 自宅文庫にて幼児、小学生を対象に絵本の紹介や読み聞かせ
- 小学校での手作り紙芝居と絵本の読み聞かせ（週1回）
- 幼児施設での紙芝居と絵本の読み聞かせ
- 本に関することで、学校支援ボランティアへの協力
- 図書館友の会役員や協議会委員として図書館事業への協力や参加

【これから】

20年余りの活動に区切りを付け、文庫として開放していた自宅庭のログハウスは昔からの知人に譲りましたが、今後も自宅等で文庫としての活動を続け、活動を通して多くの人達に絵本の面白さを知っていただき、出会いやふれあいの場を提供したいです。

表彰していただきましたことを励みにしまして、一個人の活動に留まらず、多くの仲間を募り、絵本の世界を広げていきたいと思っております。



北海道表彰奨励賞

フリーリング絵本部「ファンタジア」

石狩管内 札幌市

<団体の概要>

設立年：平成27年

会員数：16名

代表者：岸春江

【グループの始まり】

フリーアナウンサー岸春江の「絵本読み聞かせボランティア講座」を受けた人や、小学校で読み聞かせをしている人が“活動の場を広げていこう”と集まって出来たサークルです。新サークルの立ち上げも行い、その活動のアドバイスをしながら一緒に活動する事もあります。

【活動の内容】

- 書店での絵本読み聞かせ会（月1回）
- 札幌市視覚支援学校・小学部での読み聞かせ会（月1回）
- 絵本ボランティア養成講座（年5回程度）
- 乳幼児の保護者向けの講座（年4回程度）
- 小学生の保護者向けの絵本や読書推進講座（年6回程度）
- 親子向けイベントでの絵本の読み聞かせ会（年4回程度）
- 絵本作家応援イベント（年2回程度）
- 絵本サークルの立ち上げ（現在3サークル）



【これから】

子どもたちに本の楽しさを知ってもらおうと同時に、保護者の方には電子メディアの長時間利用の弊害について啓蒙活動も行っていきます。また、読み聞かせの技術講座の開催をしながら読み手を増やし、新サークルが増えてきたら、母体となる「ファンタジア」は福祉施設の子どもたちに積極的に読み聞かせを行っていきたいです。

すべての子どもたちの未来が明るいものであることを願いながら、出来る事をひとつひとつ開催していこうと思っています。



2019 年第 73 回読書週間ポスター

(公財) 読書推進運動協議会ホームページでは、春のこどもの読書週間、秋の読書週間の時に広報に使える ポスター、ハガキ、しおりなどのデータを公開しています。

北読進協だより 第 35 号

発行年月日 令和元年（2019 年）12 月 25 日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

北海道立図書館総務企画部企画支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、公益社団法人読書推進運動協議会発足の翌年の昭和 35 年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。

構成団体（令和元年 12 月 25 日現在、以下 10 団体）

- ・北海道図書館振興協議会
- ・北海道 PTA 連合会
- ・北海道学校図書館協会
- ・北海道女性団体連絡協議会
- ・（一社）北海道ブックシェアリング
- ・北海道書店商業組合
- ・（株）北海道新聞社
- ・（株）毎日新聞北海道支社
- ・北海道出版取次協会
- ・（公財）北海道青少年育成協会